

基礎学力と思考力を身に付けた児童の育成

加茂南蒲・石川小学校

本校では、基礎学力と思考力を身に付けた児童の育成を目指して、次のような教育活動を推進している。

1 基礎的基本的な知識・技能の習得

(1) Web配信集計システムの活用

① 実施前の取組

- 配信問題計画表で、各学級が学習進度を確認
- 過去問題を活用した授業改善と定着の確認

② 実施後の取組

- 診断結果を分析し、補充・発展学習を実施

③ 全校体制での取組

- Webのない低学年が印刷・入力を担当

(2) Q-Uの活用

- 学習を支える学級集団づくりへの活用
- 職員研修で分析し、各学級の改善策を協議

(3) その他の取組

- 学習規律の共通理解と全学級での徹底
- 基礎基本の練習時間の設定と全校テストの実施
- 各種学力調査結果の分析と補充学習の実施

2 思考力・判断力・表現力育成の取組

(1) 論理的思考力の育成を図る職員研修

(2) 日々の授業改善

- 主体的な学習を促す「考えを書く、説明する時間」の設定と、能動的な学習を促す「学習形態の工夫」(ペア、グループなど)
- 「身に付けさせたい力」「見通し」「振り返り」を取り入れた授業の実施

3 家庭と連携した学習習慣の確立

効果的な学習を支える「生活習慣の改善」と「家庭学習の大切さ」を校長がPTAの会合で保護者に説明し、協力を得ながら次の取組を実施している。

(1) 「家庭学習のすすめ」で、学習の仕方を提示

(2) 家庭学習カードを使った家庭学習強調週間の実施による、家庭学習と生活習慣の確立

(3) 学習用具についての共通理解と家庭の協力

4 まとめ

全国学力・学習状況調査やNRT学力検査の結果を見ると、児童の学力が年々向上してきたことが伺える。これまでの取組の成果が表れていると評価している。

今後は、「児童が主体的に学習に向かい、協働的な学習を通して考える力を育てていく授業」を目指し、さらに取組を進めていきたい。